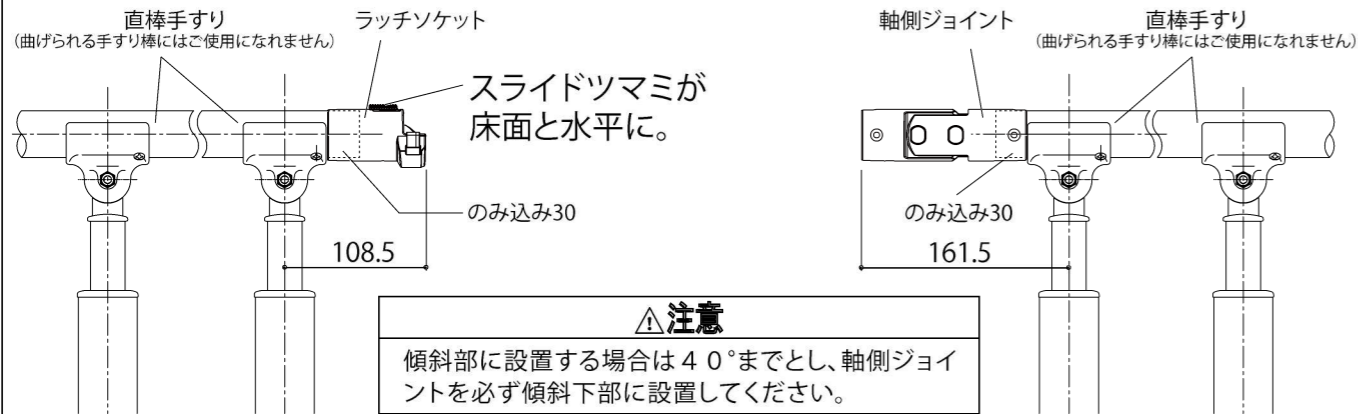
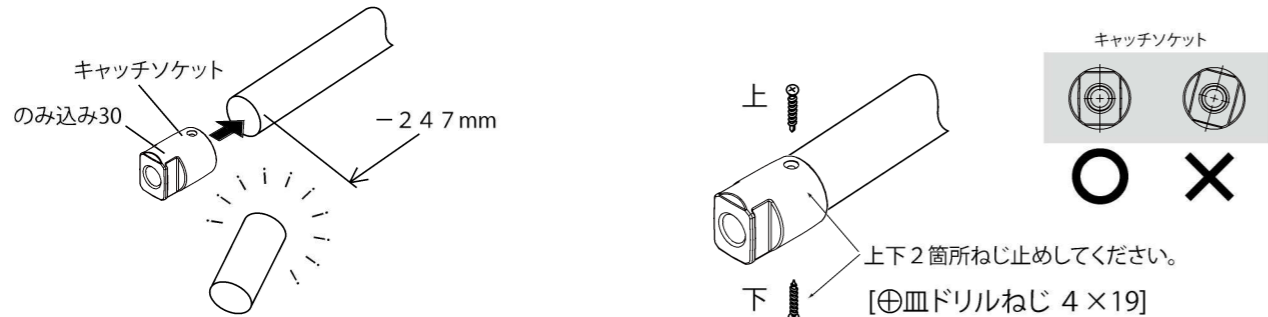


4. ラッチソケット、軸側ジョイントを床面と水平になる位置で固定してください。



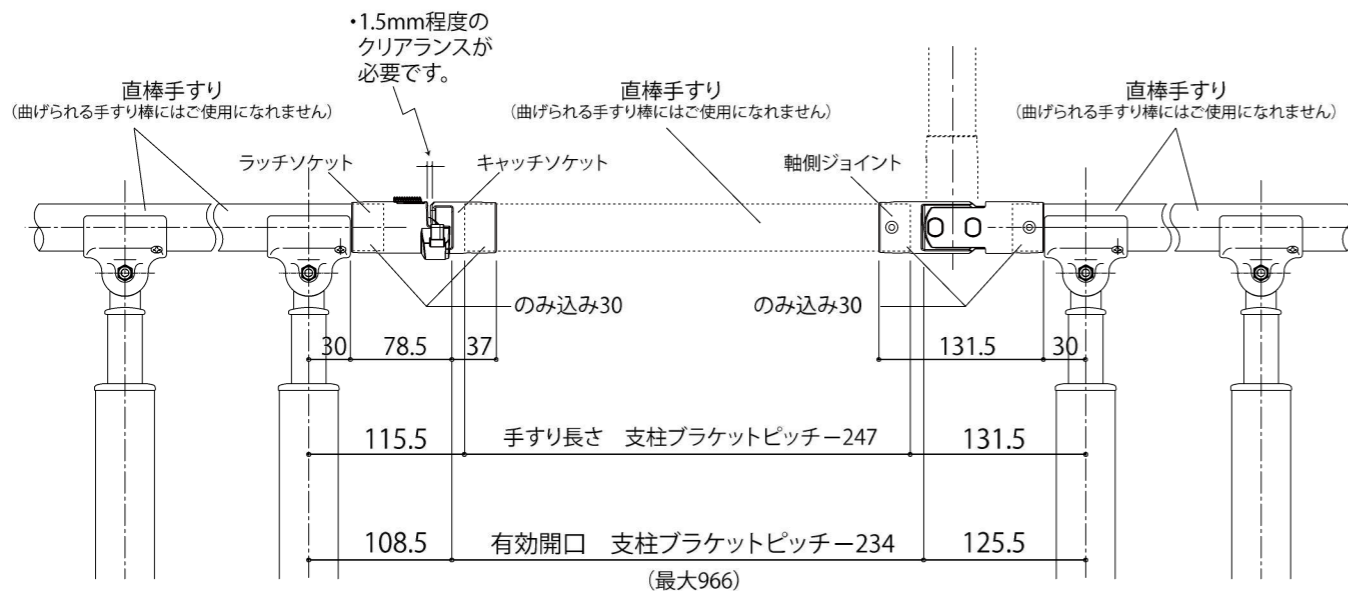
5. 手すり棒をカットします。

手すり棒長さ=支柱ブラケットピッチから、-247mmカットした後キャッチソケットを差し込み、ねじ止めしてください。



6. キャッチソケットが付いた手すり棒を軸側ジョイントに差し込み、ねじ止めします。キャッチソケットと受側ブラケットは1.5mm程度のクリアランスを取ってください。

注意
お願い キャッチソケットとラッチソケットは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



7. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

施工要領書 遮断機式ジョイント (BJ-32ST、BJ-105DB)

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後、必ずすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

安全上のご注意

- 使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

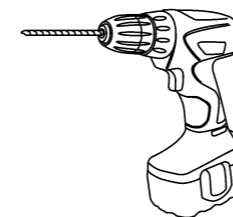


この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

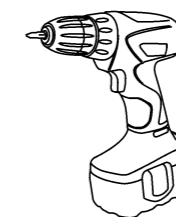


この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

施工に必要な工具



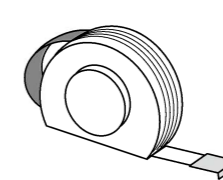
電動ドリル



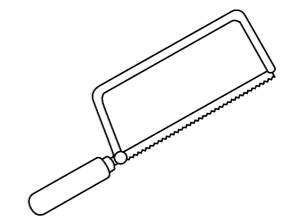
電動ドライバー



延長コード



コンベックス



金ノコ



ドリルビット
(φ3.3mm)

フリーRレール遮断機式ジョイントは、屋外用手すりフリーRレールを、連続して取付けるための部材です。
安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は屋外用です。
- フリーRレール直棒手すり (BJ-19WN、20WN、21WD、22WD) φ34専用です。
- 支柱ブラケットピッチは、1200mm以内で取付けてください。
- 40°を越える傾斜部ではご使用にならないでください。
- 傾斜部でご使用になる場合は、軸側ジョイントが必ず傾斜下部になるよう設置してください。
- 軸側ジョイントは使用時に手すり棒が急落下しない回転の硬さに設定しています。取付け時に回転させる場合には両側に手すり棒を差込んで回転させてください。



!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
!この商品は手すり棒先端のキャッチソケットがラッチソケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。ラッチソケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!ラッチソケットから外された時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。

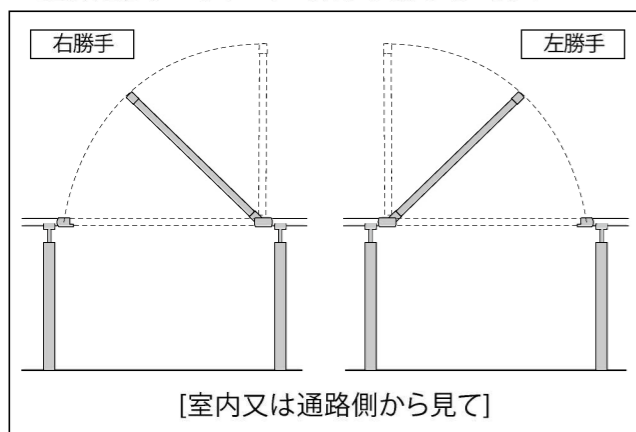
フリーRレール遮断機式ジョイント [BJ-32ST/BJ-105DB] 梱包部品図

1 ラッチソケット	2 軸側ジョイント	3 キャッチソケット	4 手すり取付けねじ
	左右兼用タイプ 注意シール ねじキャップ ※棒を差し込むと動きます。 ※注意シールは施工後はがしてご使用ください。 ※ねじキャップを外さないでください。		※取付けの際にはφ3.3程度の下穴を空けてください。 ⊕皿ドリルねじ4×19

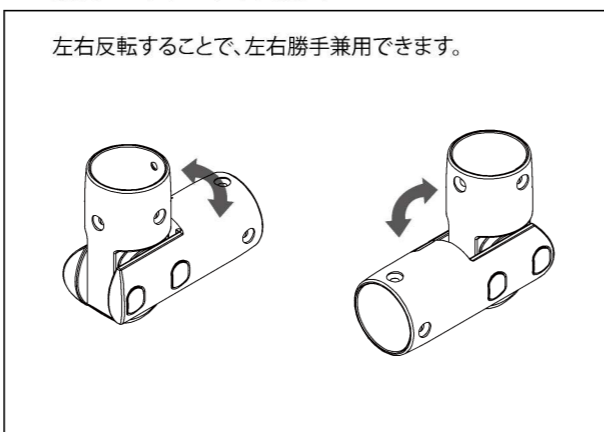
フリーRレール遮断機式ジョイント [BJ-32ST/BJ-105DB] 梱包部品

番号	部品名	仕様	数量
1	ラッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
2	軸側ジョイント	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
3	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	手すり取付けねじ ⊕皿ドリルねじ4×19	ステンレス製	10本

遮断機式ジョイント 取付け勝手参考図



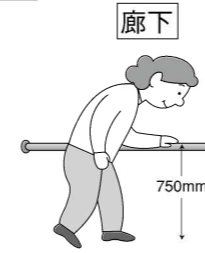
軸側ジョイント 外観図



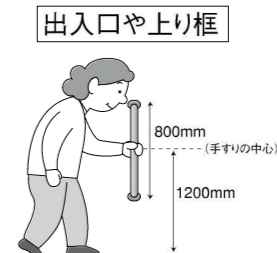
手すりの使い方と取付け位置



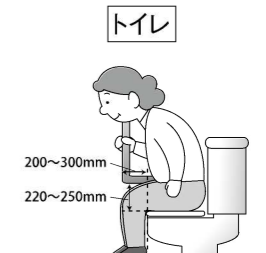
*歩行時、手をそえて摺る様を使用する。



*歩行中に動作が変わる場合に握って使用する。



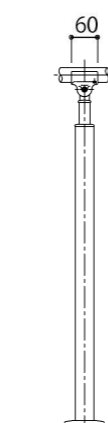
*立ち上がる時に握って使用する。



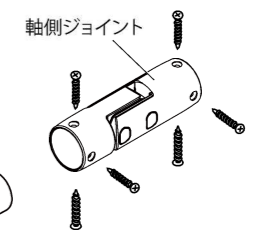
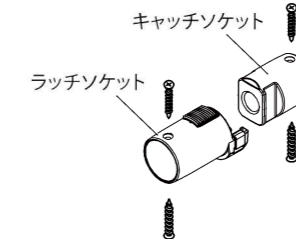
※寸法は目安ですので、使用される方の身長や体の程度により考慮して下さい。

遮断機式ジョイント 施工手順

フリーRレール用
φ34手すり棒専用



BAUHAUSフリーRレール
直棒手すり
(曲げられる手すり棒にはご使用になれません)



1. フリーRレール支柱ブラケットピッチが1200mm以内であることを確認してください。
2. 支柱の中心から手すり棒が60mm出るように、長さを調節してください。
3. フリーRレール遮断機式ジョイントの両側には必ず支柱又はブラケットを2本(個)ずつ以上設置してください。

